

庄内川事前防災行動計画(タイムライン)検討会における今後の課題と対応策

- 本検討会及び地下空間ワーキンググループにおいては、第9回地下空間WGから報告された課題について、以下の対応方針とする。

<対応方針>

①内部向けの課題

「地下街等管理者の各組織内において、平成29年度名古屋駅地区地下空間タイムライン(共通行動版(案))を認識共有することが必要である。」

<方針①>

各地下街関係者を対象とする説明会等を開催する。

②外部向けの課題

「来街者(外国人を含む)やマスコミへの水害リスク及びそれらに対応する防災行動の周知や啓発が必要である。」

<方針②>

今後、様々な機会を捉えて、積極的な広報及び啓発活動を展開する。

③関係機関との連携に関する課題

「今後のより効果的かつ効率的な運用にあたり、交通機関・接続ビルやマスコミ等との連携が必要である。」

<方針③>

地下空間WGの構成員を拡充していくとともに、地下街等に接続するビルや交通機関等との連携方法について検討していく。

④PDCAに関する課題

「今後の継続的かつ確実な運用にあたり、訓練等を通じたPDCAサイクルの取組が必要である。」

<方針④>

次年度の台風時期より試行していくことを通じて運用上の課題を抽出し、平成29年度地下空間タイムライン(共通行動版(案))のブラッシュアップを図っていくとともに、必要に応じて庄内川決壊対応タイムライン検討案の見直しを行う。